

安全データシート(SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名称：ベルトトップコート ブラックプラス

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：樹脂パーツ保護用

使用上の制限：推奨用途以外に使用しないこと

供給者の会社名称、住所及び電話番号

製造元：スズキ機工株式会社

住所：〒270-2214 千葉県松戸市松飛台316-3

担当部署：品質管理部

電話番号：047-385-5311

F A X：047-385-5313

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体：区分 2

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性：区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 2A

生殖毒性：区分 1B

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 1(中枢神経系、全身毒性)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 1(血液系)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 2(呼吸器、肝臓、脾臓)

誤えん有害性：区分 1

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)：区分 2

水生環境有害性 長期(慢性)：区分 3

(注) 記載なきGHS分類区分：区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

H225 引火性の高い液体及び蒸気

H315 皮膚刺激

H319 強い眼刺激

H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

H370 臓器の障害

H335 呼吸器への刺激のおそれ

H372 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

H373 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

H401 水生生物に毒性

H412 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策

- P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- P273 環境への放出を避けること。
- P210 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- P233 容器を密閉しておくこと。
- P240 容器を接地しアースをとること。
- P241 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。
- P242 火花を発生させない工具を使用すること。
- P243 静電気放電に対する措置を講ずること。
- P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
- P264 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- P280 保護手袋を着用すること。
- P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- P280 保護眼鏡/保護面を着用すること。
- P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

- P370 + P378 火災の場合: 指定された消火剤を使用すること。
- P321 特別な処置が必要である。
- P314 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
- P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- P312 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。
- P304 + P340 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- P302 + P352 皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
- P303 + P361 + P353 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
- P332 + P313 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- P305 + P351 + P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- P337 + P313 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- P331 無理に吐かせないこと。
- P301 + P310 飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。

保管

- P403 + P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- P403 + P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- P405 施錠して保管すること。

廃棄

- P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
-

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
イソプロピルアルコール	67-63-0	55 - 60	2-207
イソオクタン	540-84-1	10 - 15	2-8
ナフサ	64742-48-9	1 - 5	9-1689; 9-1690; 9-1694; 9-1700
n-ノナン	111-84-2	0.3	2-9
メタノール	67-56-1	0.1 - 1	2-201

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

労働安全衛生法「表示すべき有害物」該当成分

イソプロピルアルコール , イソオクタン , ナフサ , メタノール

労働安全衛生法「通知すべき有害物」該当成分

イソプロピルアルコール , イソオクタン , ナフサ , メタノール

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

吸入した場合:気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

多量の水と石鹼で優しく洗う。

皮膚刺激が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

意識のある場合はコップ1 - 2杯の水、牛乳を飲ませる。

意識のない被災者には何も飲物を与えてはならない。

直ちに医師に連絡すること。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。

応急措置をする者の保護

保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項

特別な処置が必要である。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

霧状水、泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

使ってはならない消火剤

棒状注水

特有の危険有害性

燃焼ガスには、一酸化炭素等の有害ガスが含まれるので、消火作業の際には煙の吸入を避ける。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

- 関係者以外は安全な場所に退去させる。
- 蒸気を吸入しないために風上に移動する。
- 移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

- 火災の際には適切な呼吸器を着用する。
- 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- 関係者以外は近づけない。
- 適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

- 漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
- 環境へ影響を起ささないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 掃き集めて、容器に回収する。
- 少量の場合:吸着剤(土、砂、ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等によく拭き取る。
- 多量の場合:盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラム等に回収する。
- 水と触れさせてはならない。乾燥砂などを用い、又は真空で吸い取るなどして、できるだけ完全に空容器に回収する。

二次災害の防止策

- 着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。
- 全ての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)
- 床を漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。
- 火花を発生しない安全な用具を使用する。
- 漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(火災・爆発の防止)

- 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- 容器を接地しアースをとること。
- 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。
- 火花を発生させない工具を使用すること。
- 静電気放電に対する措置を講ずること。

(注意事項)

- 皮膚に触れないようにする。
- 眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

接触回避

- 「10.安定性及び反応性」を参照

衛生対策

- 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
取扱い後はよく手を洗う。

保管

安全な保管条件

容器を密閉しておくこと。
換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
施錠して保管すること。

安全な容器包装材料

製品の容器に準ずる。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度及び濃度基準値

(イソプロピルアルコール)
作業環境評価基準 200ppm
(メタノール)
作業環境評価基準 200ppm
(1-ブタノール)
作業環境評価基準 25ppm

許容濃度

日本産衛学会

(イソプロピルアルコール)
(最大許容濃度) 400ppm; 980mg/m³
(n-ノナン)
200ppm; 1050mg/m³
(メタノール)
200ppm; 260mg/m³
(1-ブタノール)
(最大許容濃度) 50ppm; 150mg/m³ (皮)

ACGIH

(イソプロピルアルコール)
TWA: 200ppm; STEL: 400ppm (眼及び上気道刺激; 中枢神経系障害)
(イソオクタン)
TWA: 300ppm (上気道刺激)
(n-ノナン)
TWA: 200ppm (中枢神経系障害)
(メタノール)
TWA: 200ppm; STEL: 250ppm (頭痛; 眼損傷; めまい; 吐き気)
(1-ブタノール)
TWA: 20ppm (眼及び上気道刺激)

特記事項

(メタノール)
皮膚吸収

ばく露防止

設備対策

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

呼吸器保護具(有機ガス用防毒マスク)を着用する。

手の保護具

不浸透性(耐薬品、耐油、耐溶剤)保護手袋を着用する。

眼の保護具

側面シールド付安全メガネ化学品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

長袖作業衣、保護前掛け、保護長靴を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態 : 液体

色 : 無色透明～淡黄色透明

臭い : 特異臭

臭いの閾値データなし

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点データなし

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点 : -8°C(最低引火点)

自然発火点データなし

分解温度データなし

pHデータなし

動粘性率データなし

溶解度:

水に対する溶解度データなし

溶媒に対する溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密度 : 0.82

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性 : 適用外

10. 安定性及び反応性

反応性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし

避けるべき条件

高温、直射日光、熱、炎、火花、静電気、スパークを避けること。

混触危険物質

強酸化剤、水、湿気

危険有害な分解生成物

水、湿気及び空気中の水分と反応して(加水分解)し1-ブタノールを生成する。また、熱分解により一酸化炭素、二酸化炭素等の有毒ガスを発生するおそれがある。

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[成分情報を用い加算式を適用した分類根拠]

区分4 に分類される成分

メタノール

$(100/ATE_{mix}) = (区分1に分類される成分の含有量合計/区分1のATE) + (区分2に分類される成分の含有量合計/区分2のATE) + (区分3に分類される成分の含有量合計/区分3のATE) + (区分4に分類される成分の含有量合計/区分4のATE)$

$(100/ATE_{mix}) = (\text{区分1に分類される成分の含有量合計}/(0.5\text{mg/kg-bw})) + (\text{区分2に分類される成分の含有量合計}/(5\text{mg/kg-bw})) + (\text{区分3に分類される成分の含有量合計}/(100\text{mg/kg-bw})) + (\text{区分4に分類される成分の含有量合計}/(500\text{mg/kg-bw}))$

300 < 区分4 ≤ 2000 の範囲を超えるため、区分に該当しない。

急性毒性(経皮)

[成分情報を用い加算式を適用した分類根拠]

急性毒性(経皮) の区分を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。

急性毒性(吸入)

[成分情報を用い加算式を適用した分類根拠]

区分4 に分類される成分

n-ノナン

$(100/ATE_{mix}) = (\text{区分1に分類される成分の含有量合計}/\text{区分1のATE}) + (\text{区分2に分類される成分の含有量合計}/\text{区分2のATE}) + (\text{区分3に分類される成分の含有量合計}/\text{区分3のATE}) + (\text{区分4に分類される成分の含有量合計}/\text{区分4のATE})$

$(100/ATE_{mix}) = (\text{区分1に分類される成分の含有量合計}/(0.05\text{mg/L})) + (\text{区分2に分類される成分の含有量合計}/(0.5\text{mg/L})) + (\text{区分3に分類される成分の含有量合計}/(3\text{mg/L})) + (\text{区分4に分類される成分の含有量合計}/(11\text{mg/L}))$

10.0 < 区分4 ≤ 20.0 の範囲を超えるため、区分に該当しない。

労働基準法: 疾病化学物質

メタノール

皮膚腐食性/刺激性

[製品]

区分 2, 皮膚刺激

[成分情報を用い加算方式を適用した分類根拠]

皮膚区分2 に分類される成分

1-ブタノール; n-ノナン

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

区分 2A, 強い眼刺激

[成分情報を用い加算方式を適用した分類根拠]

眼区分1 に分類される成分

1-ブタノール

眼区分2 に分類される成分

メタノール; イソプロピルアルコール

眼区分2B に分類される成分

n-ノナン

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性

[成分情報を用いた分類根拠]

呼吸器感作性を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。

皮膚感作性

[成分情報を用いた分類根拠]

皮膚感作性を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。

生殖細胞変異原性

[成分情報を用いた分類根拠]

生殖細胞変異原性を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。

発がん性

[成分情報を用いた分類根拠]

発がん性を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。

[成分データ]

[IARC]

(イソプロピルアルコール)

Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない

[ACGIH]

(イソプロピルアルコール)

A4: ヒト発がん性因子として分類できない

生殖毒性

[製品]

区分 1B, 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

[生殖毒性:成分データを用いた分類根拠]

区分1B に分類される成分

メタノール

区分2 に分類される成分

イソプロピルアルコール

区分1B \geq 0.3% であるため、区分1Bに分類した。

[授乳に対する又は授乳を介した影響(追加区分) : 成分データを用いた分類根拠]

授乳影響を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[製品]

区分 1, 臓器の障害

区分 3, 呼吸器への刺激のおそれ

[成分情報を用いた分類根拠]

区分1 に分類される成分

イソプロピルアルコール; メタノール

区分2 に分類される成分

n-ノナン

区分3(気道刺激性) に分類される成分

n-ノナン; イソプロピルアルコール; 1-ブタノール

区分3(麻酔作用) に分類される成分

n-ノナン; メタノール; 1-ブタノール

区分1 \geq 10%であるため、区分1に分類した。

区分3(気道刺激性) に分類される成分を合計で20%以上含むため、区分3(気道刺激性) に分類した。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[製品]

区分 1, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

区分 2, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

[成分情報を用いた分類根拠]

区分1 に分類される成分

メタノール; イソプロピルアルコール; 1-ブタノール

区分2 に分類される成分

イソプロピルアルコール

区分1 \geq 10%であるため、区分1に分類した。

区分2 \geq 10%であるため、区分2に分類した。

誤えん有害性

[製品]

区分 1, 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

[成分情報を用いた分類根拠]

区分1 に分類される成分

n-ノナン

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[製品]

区分 2, 水生生物に毒性

区分 3, 長期継続的影響によって水生生物に有害

[成分情報を用い加算法を適用した分類根拠 短期(急性)]

区分1 に分類される成分、および各々の毒性乗率M

n-ノナン(M=1)

[成分情報を用い加算法を適用した分類根拠 長期(慢性)]

区分1 に分類される成分、および各々の毒性乗率M

n-ノナン(M=1)

$(M \times 100 \times \text{区分1}) + (10 \times \text{区分2}) + \text{区分3} \geq 25\%$ であるため、区分3に分類した。

水溶解度

(イソプロピルアルコール)

In water, infinitely soluble (25°C) (出典: NITE)

(イソオクタン)

溶けない (出典: ICSC, 1999)

(ナフサ)

溶けない (出典: ICSC, 2001)

(n-ノナン)

0.00002 g/100 mL (25°C) (出典: ICSC, 2011)

(メタノール)

難水溶性でない (1000000 mg/L) (出典: NITE)

(1-ブタノール)

難水溶性でない (77 g/L) (出典: NITE)

残留性・分解性

[成分データ]

(イソプロピルアルコール)

急速分解性あり (分解度: 86% (by BOD)) (出典: NITE)

(n-ノナン)

急速分解性あり (分解度: 96% (by BOD)) (出典: NITE)

(1-ブタノール)

急速分解性あり (20日間分解度: 92% (by BOD)) (出典: NITE)

生体蓄積性

[成分データ]

(イソプロピルアルコール)

log Pow: 0.05 (出典: ICSC, 2020)

(n-ノナン)

log Pow: 5.65 (出典: ICSC, 2011)

(メタノール)

log Pow: -0.74 (出典: ICSC, 2018)

(1-ブタノール)

log Kow: 0.88 (出典: NITE)

土壌中の移動性

データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
承認された廃棄物集積場で処理する。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。
焼却に際しては引火性物質を含むので注意して行うこと。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号 : 1993
正式輸送名 :
その他の引火性液体、N.O.S.
分類または区分 : 3
容器等級 : II
指針番号 : 128
特別規定番号 : 274

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号またはID番号 : 1993
正式輸送名 :
その他の引火性液体、N.O.S.
分類または区分 : 3
容器等級 : II
特別規定番号 : 274

IATA (航空危険物規則書)

国連番号またはID番号 : 1993
正式輸送名 :
その他の引火性液体、N.O.S.
分類または区分 : 3
危険性ラベル : Flamm. liquid
容器等級 : II
特別規定番号 : A3

環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当) : 非該当

特別の安全対策

特別の安全対策データなし

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法

引火性液体類 分類3

航空法

引火性液体 分類3

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない

有機則 第2種有機溶剤等

含有有機溶剤

イソプロピルアルコール; メタノール; 1-ブタノール

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

イソプロピルアルコール(規則別表第2の1780); イソオクタン(規則別表第2の361); ナフサ(規則別表第2の1142); メタノール(規則別表第2の2006)

名称通知危険/有害物

イソプロピルアルコール(規則別表第2の1780); イソオクタン(規則別表第2の361); ナフサ(規則別表第2の1142); メタノール(規則別表第2の2006)

別表第1 危険物 (第1条、第6条、第9条の3関係)

危険物・引火性の物 (-30°C ≤ 引火点 < 0°C)

皮膚等障害化学物質 (規則第594条の2)

メタノール

化学物質管理促進(PRTR)法

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法

危険物

第4類 引火性液体第1石油類非水溶性液体 危険等級 II(指定数量 200L)

化審法

優先評価化学物質

イソプロピルアルコール(通し番号102 人健康影響); 1-ブタノール(通し番号124 人健康影響)

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 23rd edit., 2023 UN

IMDG Code, 2024 Edition (Incorporating Amendment 42-24)

IATA 航空危険物規則書 第66版 (2025年)

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2025 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2024 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)

Supplier's data/information

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ(独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(NITE-CHRIP) (令和5年度 (2023年度) 公表分まで))です。